

病名： 症状：

<<DYTODAY>>

月日	/		/		#VALUE!	#VALUE!
経過	入院～手術前日		手術当日（術前）	手術当日（術後）	手術1日目	手術2日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族が手術の必要性を理解している 手術の準備が整う 		<ul style="list-style-type: none"> 患者および家族が手術の必要性を理解している 手術の準備が整う 	<ul style="list-style-type: none"> 胃チューブやドレーンから新鮮血の出血がない 血圧が安定する 		
治療計画	点滴			<ul style="list-style-type: none"> 手術室で背中に痛み止めのチューブが入ります 点滴を続けます 	<ul style="list-style-type: none"> 24時間点滴を続けます（食事が十分入るまで） 	<ul style="list-style-type: none"> 背中への痛み止めを追加します
	内服	<ul style="list-style-type: none"> 服用中の薬を確認します 21時に下剤を内服します 入眠できなければ、睡眠薬を飲むこともできます 			<ul style="list-style-type: none"> 酸素マスクをはずします 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 臍の掃除をします 		<ul style="list-style-type: none"> 排便がなければ、浣腸が必要な場合があります ストッキングをはきます 	<ul style="list-style-type: none"> 手術中鼻から管を入れますが、手術後には抜けます 手術後酸素マスクをします お腹に管が入ることもあります 	<ul style="list-style-type: none"> 傷のガーゼ交換は通常ありません 	<ul style="list-style-type: none"> しっかり歩けたら、ストッキングを脱ぎます
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて採血 			<ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターを装着します 	<ul style="list-style-type: none"> 採血・レントゲン 体重測定 	
活動 安静度・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 			<ul style="list-style-type: none"> ベット上安静です 寝返りができます 積極的に手足を動かしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ベットサイドで立ったり、歩く練習を始めます 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内を歩きます
食事	<ul style="list-style-type: none"> 通常の食事です 夕食まで食べることができます 水は術当日朝まで飲むことができます 		<ul style="list-style-type: none"> 食事は出来ません 飲水は6時まで可（手術時間により異なる場合があります） 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔覚醒後にうがいができます 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から水が飲めます 	→
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 臍の掃除の後にシャワー浴をして下さい 		<ul style="list-style-type: none"> ヘアピンや指輪ははずして下さい 		<ul style="list-style-type: none"> 体を拭いて着替えをします 歯磨きをしましょう 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 			<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿の管が入ります 		<ul style="list-style-type: none"> 尿の管を抜きます 管が抜けたら尿量を測ります
教育指導説明	<ul style="list-style-type: none"> 医師から手術の説明あります 看護師が入院生活について説明します 麻酔科医師と手術室看護師の訪問があります 手術の必要物品を準備して下さい 		<ul style="list-style-type: none"> 貴重品をご家族に預けて下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、痛みや気分不良がある時は看護師にお知らせ下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 座る練習からはじめます 調子がよければ頑張って歩きます 痛みの程度に応じ痛み止めを使用します 病状により部屋移動があります 	
特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 有 栄養状態に合わせた栄養管理を行います <input type="checkbox"/> 無					

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

消化器外科 主治医： <<ORDCT_S_A>> ④ 担当医： <<ORDCT_T_A>> 看護師： <<ORDCT_N_A>> ④

上記について説明を受けました。 平成 年 月 日

患者氏名： ④ （印鑑がない場合は自署）

親族氏名： ④ （患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入）

月日	#VALUE! ~ #VALUE!	#VALUE! ~ #VALUE!	#VALUE! ~ #VALUE!	/
経過	3~4日目	5~6日目	7~10日目	退院後の生活について
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 腸の動きが回復し排ガスがある 経口摂取後嘔吐や腹部膨満感が増強しない 	<ul style="list-style-type: none"> 嘔気・嘔吐の症状がない 創痛が軽度でトイレ・洗面に歩行できる 	<ul style="list-style-type: none"> 傷に発赤や腫れがない 38.5℃以上の発熱がない 食事を半分摂取することができる 食後嘔吐・腹部膨満感がなく排便がある 	
治療計画	点滴			
	内服	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬の心臓や高血圧の薬を状態に応じて再開します 	<ul style="list-style-type: none"> 食事が半分摂取できていれば、点滴が終わります 持参薬の内服再開します 	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬は正しく服用して下さい 
処置	<ul style="list-style-type: none"> 背中痛み止めの管を抜きます お腹の管を抜きます 		<ul style="list-style-type: none"> 傷の抜糸を行います 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血  		<ul style="list-style-type: none"> 採血  	
活動 安静度・リハビリ			<ul style="list-style-type: none"> 院内を歩きます 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活での制限はありません 積極的に体を動かしましょう
食事	<ul style="list-style-type: none"> お粥を食べることができます 	→	<ul style="list-style-type: none"> 常食を食べることができます 	<ul style="list-style-type: none"> 食事制限は特にありませんが、1回の食事量を抑え間食などで補いましょう 30分以上時間をかけよく噛んで食べて下さい 食後はすぐ横にならず、軽く動きましょう 刺激の強い食品は避けましょう アルコールは医師の許可を受けて下さい 暴飲・暴食は避けましょう 消化のよい食品を食べましょう
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 管が抜けたらシャワー浴ができます 	 →	→	
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 排便がなければ看護婦にお知らせ下さい 		
教育 指導 説明	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管を抜いた後、尿が出ない時はお知らせ下さい お腹の管を抜いた後、ガーゼが汚れたらお知らせ下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士から指導があります(手術後5~8日目までに)  	<ul style="list-style-type: none"> 状態によって退院できます 退院時次回外来受診予約票をお渡します 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙を続けて下さい 腹痛・便秘・発熱など症状が持続する場合は受診しましょう その他、退院後の生活に心配がある方は相談して下さい 
特別な栄養管理の 必要性				

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めて行くにしたがって、変わり得るものです。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。